

機種名 円二色性分散計
メーカー 日本分光
型式 J-500A
利用目的 光学活性分子、あるいは蛋白質や遺伝子などの生体高分子の溶液中でのコンホメーションを解析する
担当 森本雄祐教授
連絡先 [info\(at\)kitcia.kyutech.ac.jp](mailto:info@kitcia.kyutech.ac.jp) に連絡



分析原理

180 - 600 nm の紫外・可視領域の円偏光スペクトルを測定するが、ペルチェ素子を使った温度制御装置が設置されているため、蛋白質の変成温度の測定なども可能である。

データ解析ソフトウェアとして、蛋白質の二次構造解析ソフトが利用できる。

分析試料について

測定したい試料の水溶液、あるいは有機溶媒の溶液として $1\mu\text{g/ml}$ 程度の濃度で 0.5 ～ 1.0 ml が必要である。溶液を測定するための石英セルは、光路長が 1 mm ～ 1 cm まで各種用意してある。

仕様

利用の注意点

セルを洗浄するための溶液等は利用者が準備する必要がある。装置は測定の際は常時窒素ガスで置換されるため、使用した時間換算での窒素の使用料が課される。この使用料には、キセノンランプの使用料も含む。

利用方法

- ・オペレーターが居ないため、装置責任者の協力が得られることが必要である。
- ・依頼測定不可